#### PRINTED BOARD CONNECTOR

Publication number: JP63274074 (A)
Publication date: 1988-11-11

Inventor(s): ONOE NOBUAKI; IMAI AKIRA +

Applicant(s): AMP INC +

Classification:

- international: H01R12/08; H01R12/22; H01R12/24; H01R13/639;

H01R43/24; H01R12/00; H01R13/639; H01R43/20; (IPC1-

7): H01R23/68

- European: H01R9/07B3

Application number: JP19870108745 19870501 Priority number(s): JP19870108745 19870501

Abstract not available for JP 63274074 (A)

Abstract of corresponding document: US 4936792 (A)

An electrical connector for connecting a flexible printed cable (14, 23) to a circuit board 13 comprises a dielectric housing (3, 10, 20) having electrical contact members (2a, 11, 21) secured in opposing sides of the housing, the contact members having contact sections (2a, 11A, 21c) inside of the housing for electrical connection to exposed conductors of the flexible printed cable when a section is positioned in the housing and maintained in connection therewith by a cover member (4, 12, 22) which is pivotally mounted on the housing and latched hereto by latch members (10A, 12A; 20b, 22a). Leg members (2b, 11B, 11C, 11d, 11E, 21a) of the contact members (2a, 11, 21) have terminating sections that are disposed along a bottom of the housing or extend outwardly from the housing in a plane of the bottom surface of the housing for electrical and mechanical connection to respective coductive and metal areas on a surface of the circuit board or the terminating section extend parallel to the sides of the housing and extend through holes in the circuit board for electrical and/or mechanical connection to conductive and metal areas on a bottom surface of the circuit board.



Also published as:

JP4056436 (B)

JP1769462 (C) US4936792 (A)

KR930004259 (B1)

Data supplied from the espacenet database --- Worldwide

# ◎ 公開特許公報(A) 昭63-274074

∰Int\_CI,\*

識別記号

厅内整理番号

6公開 昭和63年(1988)11月11日

H 01 R 23/68

3 0 3

A - 6901 - 5E Z - 6901 - 5E

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

公発明の名称 プリント基板用コネクタ

**②≑ 第 №62-10874**5

◎出 顧 昭62(1987)5月1日

份発 明 者 尾 上 伸 明

|神奈川県相模原市上館間7-9-2-604

20発明者 今 井

彰 神奈川県横浜市旭区善部町78

| 忽出|| 顧|| 人|| アンブ|| インコーボレ

**--デッド** 

アメリカ合衆国 ベンシルバニア州 17105 バリスパー

グ フレンドシップ ロード 470

组代 理 人 并理士 柳田 征史 外1名

## 88 86 88

## 1、展制の名称

プリント基板用コネクタ

## 2、特許數求の範囲

ハウツングにインサートモールドにより一体的に関み込まれ、一部をハウジング内の空間に難出し、物部をハウジング外に関部として延出した多数のコンタクトを有し、このコンタクトの前記ハウジング内の部分に外部からフレキンブルブリントケーブルを答駁自在に接続する接続手段を鍛えたブリント基板周コネクタにおいて、

前記コンタクトのハウジング外に延出した多数 の概念のうち、一部をアリント基板への電気的接 続用、他部をアリント基板への機械的機定用とし たことを特徴とするアリント基板用コネクタ。

## 3、発明の詳細な説明

## (産業上の利用分野)

本務明はアリント募板用のコネクタ、等にフレ キシアルアリントケーアルをアリント基板に接続 するためのコネクタに関するものである。

## (従来の技術)

アリント基板へのコネクタの接続にはコンタクトの膨落をアリント基板上の孔に移入して半田付する過ぎ(半田ディップ) 式のものと、アリント基板上に軽蔑したままコンタクトの節窓を半田付する表面実験式のものがある。最近はアリント基板上の回路の高密度、小型化のためにコンタクトのピッチが小さくなり(例えば1 \*\*\*)、それに応じてアリント基板上に孔を密にあけることが困難となっており、表面実践に対するニーズが高くなってきている。

表面変数タイプのコネクタは、プリント発板へ の激素的接続の外に、機械的に固定される必要が あり、提来はコネクタの低部にポスを設け、これ をプリント整板にあけた孔に嵌入して温定する方 活、あるいはコネクタの下落に機に張り出した金 踊アレートを取り付け、これをプリント模板上に 半田付けする方法によって顕定されている。

#### (発明が解決しようとする問題点)

このような固定方法によると、前者の場合はプリントが形にポス級入用の孔を加工する必要があり、またコネクタにポスを設ける必要があるのでコネクタの製造コスト上あるいは取扱上不利であり、また後者の場合は高密度化、小型化の要請の強いプリント基板上に金額アレートの占める面積を余分に受し、プリント基板上の有効面積が小さくなってしまうという問題がある。

#### (問題点を解決するための手段)

本発明のコネクタは、コネクタハウジングに。 一部をハウジング内の空間に選出し、他部をハウ ジング外に謝部として延出した多数のコンタクト をインサートモールドにより一体的に削み込み、 前記多数の顕微の一部をブリント基板への覆架的 無鉄路とし、他部をブリント基板への機械的影響 用としたことを特徴とするものである。

フリント基板上に軽減してコンタクトを基板上のバターンに半田付けすることを要味するものである。一方、機械的接続とは、コンタクトの脚部をプリント基板上に沿って延びる形めるいはアリント基板に穿殺した孔に挿入される形にして半田付けにより選定することを意味するものである。
(実 係 例)

以下、側面により本発明の実施例を詳細に説明 する。

第1回に示すように、コンタクト用リール1に ストリップ状コンタクト2が整かれており、これ を考接して第2回に示すようにその一部を切り取 り、第3回に示すようにコネクタハウジング3と 一体的にインサートを一ルドする。このコンタク ト2は両側にキャリア2A, 2Aを有し、その間 に平行に多数のコンタクト2Bが打ち抜かれたも ので、中央が積点部2a、両側が脚部2b, 2bとなっ ている。したがって、中央に密間を有するハウジ ング3とともにインサートモールドすると、第3 図、第4回に示すように中央部2aをハウジング3 上記インサードモールドに蒸し、好ましくはコンタクトは両側にキャリアを有するダアルキャリア形のストリップ状に打ち抜いたものとし、この両側のキャリアを外に出した状態でコネクタハウジングと一体的にインサートモールドする。これにより、ハウジングの両側に多数のコンタクトの脚部を超出させた形態に成形することができ、両側の脚部を各種各様に利用して用途を広げることができる。

#### (作用および効果)

コンタクトをハウジングに一体的にインサート モールドし、このコンタクトの脚部の一部をアリ ント基板への機械的顕定用に使用することにより、 特別に機械的顕定のためのポスや金銭アレートを 設けるを変がなく、コネクタの機成を簡単にする ことができる上、アリント基板上に落密度の表面 実質を可能にすることができる。

なお、電気的複数とは、コンタクトの影響をア リント整数上におって延びる形とし、コネケタを

内の空間に露出し、胸脚部2b、2bをハウワング8 の外に返出した影響となる。ここでキャリア2A。 2Aを切り離せば、胸脚部2b、2bを胸側へ張り出 した形のコネクタの暴本的構造ができる。

このように、構成されたコネクタのコンタクトの 数部2b、2bを各種名様に加工することにより、各 種の用途に対応できるアリント基板用コネクタが 実現される。

第5A-5D創に第1の整線を示す。

先ず第5人図に示す矢印の位置で脚部26、26を切断し、両側のキャリア2人、2人を切り継す。次に脚部26、26を下方へ折り曲げ、さらにコネクタハウシンク3の経部に回して折り曲げる(第58回)。その吸ハウジンク3の上に上藁4を削み込む(第50回)。このようにして、第50回に示すような下方へコンタクトの脚部25が折り込まれたコネクタができる。コンタクトの両側の脚部26をオリント基板への電気的接続に使用し、他方の側の脚部26をアリント基板への電気的接続に使用し、他方の側の脚部26をアリント基板への機械的固定に使用することがで

查查。また素質の顕然2bに直って、一部の顕然2b 查看案的接続に、他の顕然2bを模様的固定に使用 してもよい。

第6人一台の図に第2の懸様を示す。

第7人一7日图に第3の懸提を示す。

第7人間に示すように、両側のキャリア2人、 2人を切り終し、さらに両方の脚路2b、2bを下方 人折り曲げる(第7日割)。これに上蓋4を取り

ハウジング10の内部には空間があり、これと一体的にインサートモールドされたコンタクト11の中央級11Aがその空間に落出しており。そのハウジング外へ延出した脚部11Bは下へ折り込まれている。ハウジング10の上には、株12Aをハウジング10の株堂部10Aに株支される上数12が組み合わされ、上数12の係止器12Bとハウジング10の係止部10Bとがスナップインして扱いに係合し、上数12をハウジング10に関じた状態でロックするようになっている。

使用終は、上数12をロックしないで半開きにした状態(第18日図)でアリント基板13上に軽調し、 所定の一部のコンタクトの総部11日を基板13上の パターンに半田付けして微気的接続をし、他のコンタクトの線部11日を基板13上の機械的固定用部に半田付けして固定する(第180回)。次に第18 日園に示すようにフレキシアルアリントケーブル (FPC) 14を上数13の下へ構入し、ハウジング 10内に適出したコンタクト中央部11人に電気的接触をさせた状態で上数13を閉じてロックする(第 付ければ(第7〇四)、第70回に示すように下 力へ減びた期部2b、2bをもったコネクタができる。 この一部はアリント基板に挙録した孔に挿入し、 半田付けすることにより電気的に接続され、他の ものは同じくアリント基板に穿扱した孔に挿入し て機械的に固定される。

また、下方へ及びている脚部20の一部をハウジング3の線面に治って外方へ折り出げ、これをブリント基板の表面の回路に凝集的に接続するようにし、下方へ延びた脚部はブリント基板を貫通してブリント基板の裏の回路に接続するようにし、ブリント基板の表裏の回路の両方に接続するようにすることもできる。このとき、ブリント基板への機械的固定は、多数の翻照20の中の任意の課部を利用して行なうことができる。

次に上記3種の意味をさらに異体化した実施例 を図面により説明する。

第8、3、19A-10F劉は第7A-70例に並 した前記第1の整接を具体化した実施例を示すら のである。

10日間)。FPC14を外すときは、上数12を強く 上へ終与上げて開き、FPC14を扱いて外す(第 10F回)。

なお、コンタクトのの中央部川人は第8週では 切れているものを示しているが、これはつながっ ていてもよい。

新11回と第12回には、前記第2の照線の異体例を示す。第1の镀線と異なっているのは、片側の脚部110が外方に折り曲げられて返びている点である。反対側の脚部は第8回の脚部11日と同様に内方へ折り曲げられている。なお、これも外方へ折り曲げるようにしてもよいのは言うまでもない。

FPCの郵扱の方法は第10A-10F窓に示した 概と別様である。

第13図と第14図には、前記第3の態様において一部の脚部を外方へ折り曲げたものに相当する具体機を示す。ハウシングの外に延出した脚部のうち、一部110は外方へ折り曲げられており、他のもの11日は展踊に治って外方へ折り曲げられている。この異体例では、下方に折り曲げられた脚部

110の内部器部11a は上記各具体所と測様に上方に満出して外から移入されるドPCと電気的に接触するようになっているが、外方へ折り出げられた脚部11Eの内部器部11b は短かく切断され、ドPCには接触しないようになっている。したがって、脚部11Eがアリント器板に半田付けされても、機器しか有していない。もちろん。脚部11Eへ接するアリント器板側の部分が準備パターン外の部分であれば、この脚部11Eの内側端部11b は他のコンタクトの端部11a と同様にFPGに接するようになっていてもよい。

次に、さらに異なる実施例を第15例から第18例に示す。この実施例は、ハウジング20に上数22を前後に搭動可能にし、第15例、第16例の簡いた状態でFPC23を移入し、上数22を閉じてロック(第17例)した後、上数22を後方へスライドさせて(第18例)FPC23が抜けるようにしたものである。コンタクト21の翻節は、プリント基板に接続されるもの21%は下方へ斜めに下ろして折り曲

## 4、関係の無単な説明

第1回は本発明のコネクタに使用するコンタク トのリールに養かれた状態を示す副規則、第2回 は同じくそのコンタクトの一部を切り取った状態 を示す緊視図、第3回はその切り取ったコンタク トをハウジングにインサートモールドしたものを 来す劉朝國、第4回はその新面図である。第5A - 5 0 窓は太発明のコネクタの実施側の製造工程 老而才說明別、第6人一名日間は他の実施例の製 造工程を示す説明器、第7A-7D圏はさらに異 なる実施例を示す説明図である。第3週と第9回 は水鉄明のコネクタのさらに詳しい実施務を示す 級機関、第10A -- 10F 図はその創立工程を示す数 明國、第11回と第12回および第13回と第14回は同 むく他の詳しい実施解をそれぞれ示す解義図。第 15回は同じくさらに異なる実施例を示す概範例、 第16回はその解散図、第17回、第13回はそれぞれ 溺じくその上数を閉じてロックした状態とスライ おして聞いた状態を示す側面図である。

2 - コンタクト ② A - キャリア

けており、複様されないもの215 は途中で類かく 切り取られ、プリント整板に溺かないようになっ ている。FPO23を抜き取った裏は、スライド式 上数22を元の位置に従して初期の状態(第17例) に従る。

本党別のコネクタは、上記名実施例に明らかなように、ハウシングに上蓋を開閉自在に設け、これに下POを挿入して内部のコンタクトと接続させ、コンタクトの外部の延振した脚部の一部を覆気的接続に、他の一部を機械的器定に使用するものであるから、極めて簡単な構造により高密度実験を可能にするアリント基板用のコネクタを実現することができる。

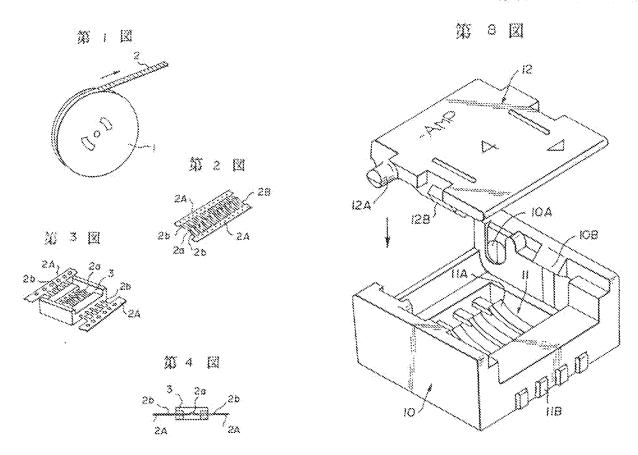
なお、多数の脚部のうち一部を電気的接続用に、 他部を機械的固定用に使用するというのは、全て の脚部を必ずいずれかの用に供しなければならな いことを意味するものではなく、実装に当たって は設計上、全く使用されない脚部がありうること は言うまでもない。

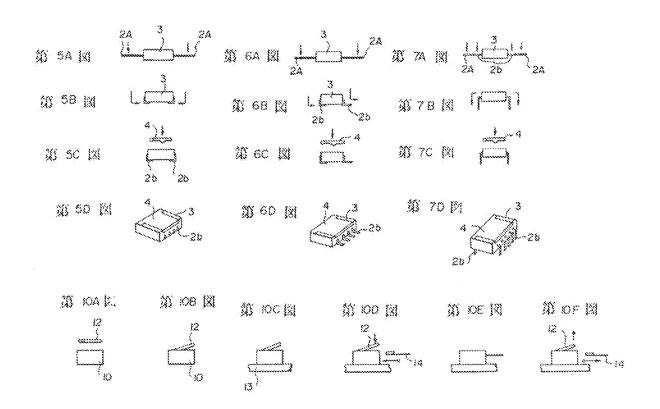
2a、11A…コンタクトの中央部

28, 118, 110, 110, 11E, 21a, 21b

3、10、20~ハウンング

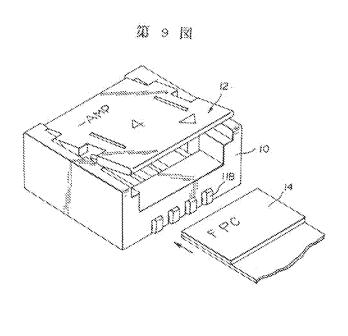
4, 12, 22-1 \$ 14, 23-F P Q

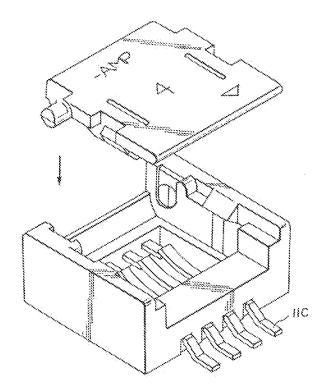




## 初期昭63-274074(6)

第川図





第 3 图

